明治四十五年六月二十五日（第三種郵便物認可）
大正元年九月廿五日發行（每月一回二十五日發行）

婦人新報

日本基督教婦人矯風會

第百八拾叄號

317

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百八十三號目次

明治天皇御大喪

社說

喪章を付くる白リボンの會員　大阪　林歌子女史

矯風會員の御大葬奉送
御大葬奉送の歌　南湖院長　高田畊安氏

をしへの庭

新約書の婦人達　大阪教會牧師　宮川經輝氏

品性と姿勢美　文學士　三井芳太郎氏

講演

社會の基礎　代議士　島田三郎氏

乃木大將夫人　廓清會理事　益富政助氏

もしほ草

米國よりの書翰

米國家庭に於ける兒童の躾方　ハチエラー・オフアーツ　北村美那子女史

はたらき

各課の一年間

社告

◎婦人新報定價（郵税共）

一部（前金）金六錢
六部（前金）金三十五錢
十二部（前金）金七十錢
（郵券代用一割増）

◎廣告料

一行（五號活字）金十錢

大正元年九月廿三日印刷
大正元年九月廿五日發行
發行兼印刷人　矢島楫
編輯人　高原學
發行所　婦人新報社　東京市麹町區上二番町卅三　矢島方
編輯及事務所　麹町區上二番町卅三　矢島方

No.182　　SEPTEMBER. 1912

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

The Funeral of the Late Emperor.
The "White Ribon" in Mourning................................Miss. Hayashi.
The W. C. T. U. Members at the Funeral Procession..............
The Funeral Hymn............Dr. Takata.
The Women in the New Testament................................Mr. Miyagawa.
Character and Pastural Beauty..Mr. Mitsui.
The Basis of Society............Mr. Shimada.
General Nogi's Wife............Mr. Masutomi.
Letters from America..............................
Home Education in America....B. A. Kitamura.
Reports..

FUJIN SHIMPO OFFICE.
c/o Mrs. Yajima, No. 33 Kaminibanchō Kojimachi, Tokyo.
70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

高貴御用品

香料中の香料

衣裳の薫!!!

家庭の箪笥夜具櫃には衣裳の薫をお忘なくお入遊ばせ蟲害や濕氣を充分に防ぐ理想の香料であります。

外出には衣裳の薫の移り香床しい召物をお召遊ばせ汗の臭を去り行交ふ毎にゆらぐ薫は自ら氣品を高めます。

夜會、觀劇などにはせひ衣裳の薫の匂ひ床しい晴着をお召遊ばせ傍の人々に快感を與へるは勿論自ら氣品を高め美しい衣裳に一段の美を添へ相互の愉快は無上。

○婦風會員は婦人新報社へ
○關西の諸姉は大阪支部へ御注文を乞ふ

發賣元 浪華 東都 東籬園

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産婦人科
小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

△院長診察 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麴町區飯田町
四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

看護婦幷に見習生

募集

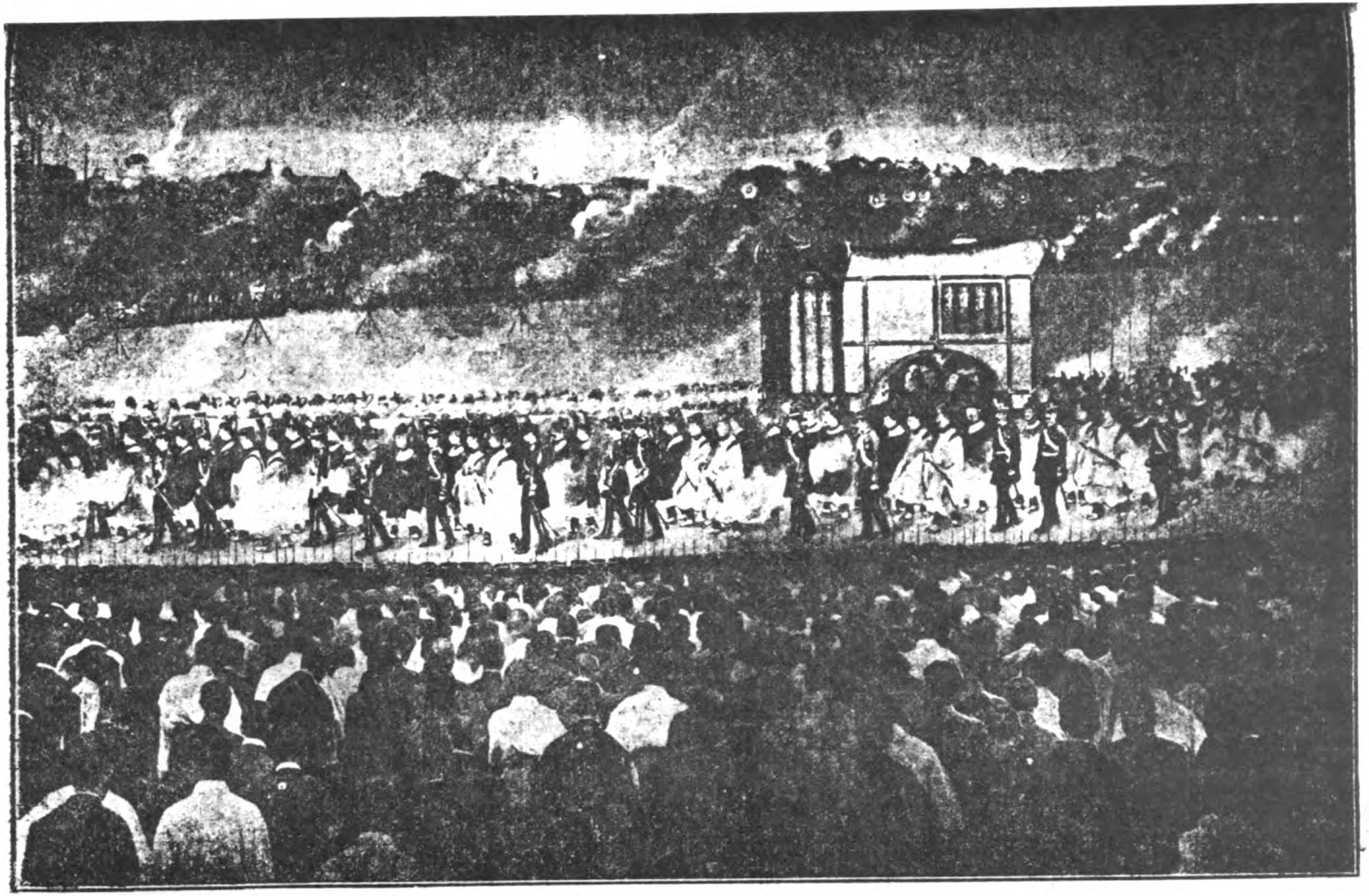
東京芝區葺手町五番地

渡邊看護婦會

會主 渡邊鎌子

電話芝壹三九三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



あゝ悲しき大御幸　（大正元年九月十三日）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治天皇御大喪

大正元年九月十三日、われら六千萬の赤子は四十五年の間山と高く海と淵き御鴻恩に浴し、日月と並び輝ける御聖德と御偉業とを瞻仰し、景慕し奉りし　明治天皇陛下の永久に再ひ還りまさゞる御幸を送り奉ることゝはなれり。嗚呼悲しくも亦忘れがたきは此の夕かな。さきに御不豫の報に接するや臣民均しく熱誠を捧げて御平癒あらせられん事を祈りつる甲斐もなく遂に崩御ましまし、われら臣民は申すもおろか　畏れ多くも大内山の御なげきわけて皇太后陛下の御心の内さこそと推しまつるだに恐懼の至りなり。あはれ明治天皇陛下の御代に於て王政を古に復させ給ひしを始とし二大戰役に於ては此の國をして世界文明國の列に入らしめ、領土も其域を廣め給ひしのみならず、臣民は文明の恩澤に浴し、宗教の自由をも得たるが上に婦女子の敎育に至りてはいよ〳〵其歩を進めて今日あるに至れり。さるにても今日といふこの莊嚴悲痛なる御殯葬の大典に際しては各外つ國の主權者よりは、はる〳〵御名代もしくは代表者を御派遣あらせらる、これ偏に先帝陛下の御在世中に成させ給ひし御盛德の致す所に外ならざるを思へば萬感胸にせまりて言はん辭をしらず。只謹み畏みて御靈柩を奉送しまつりとこしへに御聖德を記念し奉るになむ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人特報

第百八拾三號

喪章を付くる白リボンの會員

今や我等は黑き喪章を白きリボンの徽章の上に付する諒闇の國民となりぬ。明治天皇の御登遐は天皇の愛撫なし給ひたる國民に無限の痛恨と、至大の敎訓を與へられたり。其一例として或處に一家族あり其主人は數人の子女を有し、明治天皇と御齡を同ふし今年六十一歳なり。今回の御大喪は父たる人に強き覺醒をあたへ、己が衛生のため且は子女の生ける模範たらんために、斷然禁煙禁酒を實行し、心中に潜める宗敎心は發揮して、年來基督敎を信奉する其妻と信仰を同ふするに至りければ、其子女も之に動されて其信仰、其業行一變し、己が一代に止らず子孫迄の幸福の基を開きし家庭ありときく。他にも之に類したる美談多くあるべし。

明治天皇御不豫にあらせられし旬日間は、六千萬の同胞を擧げて祈禱の民となりぬ。御大喪の一年間は、謹愼、克己、修養の好時機として向上發展せば眞に先帝陛下の鴻恩に酬ひ奉り、今上陛下の忠義なる臣民たるに庶幾からんか。

我儕矯風會員は、家庭の貞潔(一夫一婦の大倫)禁酒禁煙等を專ら唱導すれども、元來外部の事にあらずして、要は心靈上の覺醒、社會矯風の先覺者、宗敎の一活動隊として進まざるべからず。

一般の人々と共に胸部に纏へる喪章の下に白く柔きリボンを纏へるは、我等の徽章なり、旗印なり、白き

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は貞潔、純白を意味し、リボンの細き且柔かなるは、忍耐を意味し、地球を結べるしるしは、萬國の聯合、其愛と其主義、全地球を一つに結合するの理想をあらはす此主義に固く立ち、希望の曙を指して漸進するは今なり千載一遇の好時機なり。各々大に自覺して、主キリストの心を以て己が心となし、只此一事を務む、神のため、國のため、家庭のために奮闘せん、我等同志の姉妹、共にキリストにありて相結び切なる祈禱を以て日々其最善を盡して勵まん。（林歌子）

矯風會員の奉送

わすれかたき九月十三日今日ぞ先帝陛下に御永訣のその日なる、せめては斂葬を拜し靈轜を奉送しまゐらせんとかねて出願し置たりしに二百人御許可の榮を得たれば東京及附近の會員にそれ〳〵報を發し、相率ひて日比谷公園の沿道に到る、矢島會頭は一生にこの日を措きては再となし如何なる苦痛も物のかずかはと忠君の御志まめやかに御老體をひつさげて奉送せられたり。市中は軒毎に黒布を附したる弔旗弔燈を揭げ萬戶業を休み又御道筋は其軒に黒き幕を張り窓をとざして只管奉悼の意を表す。二重橋より馬場先門に至る御通路の兩側には根付きの眞榊篝火と相映じてまばゆく上に懸るにぶ色の幕さては黒色の布もてまとへる電柱の此所彼所にかざせる國旗一として此日の壯嚴なるを表せざるはなし、斯くて七八時間も忽ちに過ぎ御先驅隊は步調緩やかに敷詰められたる砂上を運ばるゝと覺えしがやがて轜車御發引の砲聲は今か玉體はこの住なれ給ひにし宮城を後に遷らせ給はぬ御門出の印ぞと思ひ奉れば猶更に悲の極の吹奏も身に泌み渡る心地せられ御轜車の一回轉毎に出る言ひしらぬ哀音には御沿道に堵列せる群衆も淚を呑みてひれふしぬ。斯くて數萬の陸海軍兵士文武百官の御行列はしづけく靈柩の前後を護りつゝ青山に向つて步を移させ給ふ時品川沖の弔砲は英國水兵のものせらるゝ妙に悲しき奏樂と相互して群衆の胸を打ちぬ。あゝ悲し今日の夕、とこしへに記念しまつるべきはこの日にぞある。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治天皇大葬奉送の歌（譜今様）

大正初年九月の夜
畏くも亦悲しくも
明治天皇霊柩を
静に送り奉る
惟ふに皇の聖功
比べん者は他にあらじ
富士の秀でし山よりも
皇は優れて大なり
東の帝国の内外に
迫る変患は繁かりき
良き船長のごと皇は
吾らを救ひ給はれり
而して興し給はりし
貴きものゝ多きかな
青海原の水の如
酌めども盡きんときあらじ

明治の年は四十五を
超えねど最早大日本
二十世紀の列国に
嗚呼強者よと仰がれぬ
吾皇長く生き給へ
萬歳以上在しませと
屡叫び望みしが
今や期望を疑はじ
永久の世を限りなく
治べさせ給ふ父聖神
慈愛の正義を事とせし
永主の朋を活がし給べ
六千萬の民の為
誠心をこめ祈りつゝ
登りし皇の新日本
神よ愈祝み給べ

大正元年九月十日

南湖院長　高田畊安謹詠

十 新約書の婦人達

大阪教會牧師　宮川經輝

新約聖書の中で一番

多く語つて居るのは使徒パウロである。從つて婦人に就ても多くの事を語つて居る。然るに其パウロは一生涯獨身であつたから、無論のこと妻子なく、子女の有らう筈もなかつた。それでパウロの所謂婦人觀は其の當時の社會に適した婦人觀であつた事は疑の餘地がないが、今日から見ると當嵌まらぬ事も大分あるやうに思はれる。パウロは多く當時のハイカラ女を誡めて居る。女子は集會の席上などで口をきいたり、集會に冠を戴かないで出席したりしてはいけないとか、世の終りが近づいたから女子は成るべく婚姻をしないで一意專心に主に仕へるがよいとか云ふ樣なわけで、今日の我邦の風俗習慣と思ひ合はすると全く正反對であつて、到底二者相容るべからざるものがある。それであるからパウロの婦人觀は千古不變のものであり、矛盾なしと云ふわけにいかない。

然るに使徒ペテロはパウロとは正反對に新約聖書に於て彼が云ふて居る所は極く僅かばかりではあるが、ペテロには妻もあり、姑もありて、彼はちやんと一家庭を造つて居た。それで彼の所謂婦人觀なるものは千古萬古の婦道に適應して少しも誤まらない婦人道の原則である。ペテロが婦人のために記したのが彼得前書三章の一節より七節迄に載せられてある。

約翰傳の記者も婦人に誨ゆる所ないでもないが、それは第四章のサマリヤの婦人、第十一章のマルタ、マリヤの記事あるのみである。約翰第二書にもクリヤの事を云ふてあるばかりである。其他新約書中には婦人に關し婦道についての記事が所々に散見せられるが、それは玆には措いて、余が今日主として語らんとするのは

路加傳記者の婦人觀

である。路加傳は婦人達の守り本尊として必讀の書であると兼々より推奬して來たのである。路加傳と共に語るべきは路加即ち醫者なる路加の著作たる使徒行傳である。新約聖書中で第一番に多く且つ豐富なる詩的趣味と艶麗なる文體とを以て然かも緻密に婦人の言動と婦人道とを間然する所なく描出してあるのは、路加の筆に成つたものに如くはない。

抑も此の路加とは如何なる人であつたか。此の詩的にして而かも修辭的天才を有する路加は、キリストの七十人の弟子の一人で多藝多能の人であつたと想像される。彼が病める婦人を描寫するに當つては、其の本職である醫師の立場から生理的の觀察を下して筆を運んだふしもあるやに思はれる。或る傳說によると路加は繪畫に巧であつたのでキリスト、を寫し取つたのが今日グリシヤ敎で傳へられて居るキリストの畫像は夫れの描寫したものであると云はれて居る。路加が果してそんな才能があつたかどうかはよくわからないが、兎に角彼れの文章は其の輪廓と云ひ、墨付き工合と云ひ、色彩と云ひ決して名畫に優るとも劣る所はない。彼れの筆に載せられた人物でも、言葉でも恰も錦繪を見るやうである。第二章の八節以下に「このあたりに羊を牧ふものありけるが云々……」第七章の二十四節以下に「何を見んとて野に出でしや風に動かさるゝ葦なるか云々……」と云ふあたり、殊に第十五章の放蕩息子の比喩の如きは、文章も簡潔で然かも徹底する所があり、神妙に入つて居る。彼の法華經に載せてある約十一頁に亘る放蕩息子の記事の冗長、散漫なる到底比すべくもあらぬのである。此他に路加は科學的組織的の頭腦を有して居た事が其の記せるものゝ中に顯はれてあると稱讚せられて居る位である。これは路加が約二千年の昔に在りながら非常に進步した頭腦を有して居た事を示すもので實に彼には驚くべき特徴があつたと云はねばならぬ。以上路加について述べ來つた事は路加傳及び使徒行傳を研究する者の寸時も忘れてはならぬ所である。

さて路加によりて記されたる婦人たちの中には

娘あり、妻女あり、寡婦あり、
老嫗あり

と云ふ風にすべての年齡の婦人達が網羅されて居る路加傳を精細に讀んで見ると、キリスト傳か婦女列傳か一寸讀み辨けかねる程婦人達について多く記してあ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る。路加傳の劈頭には、アンナと云ふ老婦人の記事が載せてある。（二ノ三六—三八）當時八十四歳の老人であつたが、娘時代に嫁いで七年後に夫に別れ、其の後は熱心なる信仰を保つて來たと見え八十四歳と云ふ稀なる高齢にも不拘老て益々信心深く、エルサレムの神殿に晝夜斷食して潔齋、祈禱と奉仕とに餘念なかつた何んがために斷食（小食を意味す節制也）をなし、祈禱に終日暮したのか、これは申すまでもない事である今日の天下の老媼淵瀬常なく波風荒き世にありて彼女の如く潔齋せる身心もて祈禱と奉仕とに餘念なく天父の聖前に近づきつゝあるもの果して幾何ぞや。或は牧師と其の家族、教會と其會吏、或は會員求道者等のために祈る老媼ある教會は一教會としての光榮、至福これに過ぐるものはあるまい。其の老媼は之によりて實に聖者たるの修養をなし居るので、天下に於ける老後否なすべて事業中之に如くものはない。

米國の或る片田舍に若年の

一牧師が牧して居る一小教會があつた。何分にも牧會難多く、此の年少氣鋭の牧師も進退これ谷まり殆んど絶望の深淵に陷める時に當り、不思議にも青年者がポツリ〳〵と洗禮を受けるやうに成つて來て今迄で弛緩して居た教會の教勢頓に振起するやうに成つて來た所が或日教會員の中にも貧しく且つ少しも人目を惹かない一人の老媼が死んだ。永い間教會の會員のそれこそ末席に列して居た。然し其の老媼には只一の遺産があつた。それは祈禱帳であつて其中には青年の名前を控へて、其の名前の上に印をしたのと未だ印をせないのとがある。印のしてあるのは先頃から洗禮を受けた青年たちで、其他は求道者若くは、未だ全く道に志ざさない青年である。此老媼只一の遺産である祈禱帳を一同が見た時に其牧師始め教會員一同は非常に勵まされて其教會に一種のリバイバルが興つたと云ふ話がある。東京の國民新聞の德富猪一郎氏の兩親は共に九十歳餘の高齢であるが、其信仰は實に立派なもので、東京へ出て來ると近所隣の人々を集めて聖書講義會を開いたり、教話をしたり、熱心に人のために骨折るのである。人々は翁等の平素の言動に鑑みて『入り日のよさ〳〵』と云ふ。蓋し日も山の端に沒し地平線下に沈まんとする老境にあつて『入り日のよさ〳〵』と人に謳歌されるのは實に羨望に堪へざる次第ではないか。小言を曰ふたり、嫁いじめをやつたりするのは實に『入

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

り目のわるさわるさ』である。然し高齢の故に身を以つて活動の出來ないのは殘念であると悲觀する必要は少しもないのである。余は此等高齢の人々に向つてはアンナ始め其他信仰厚き老人の態度と肉體的活動を要しない祈禱の生活に目を送らんことを切望する。

次は寡婦の順番であるか

此事については聖書にしきりと書いてある。提摩多前書五章の九節以下に寡婦たるもの、資格と之を好遇するの道を記してある。これは多分アンナなどのやうな信仰の立派な寡婦があつたことが、これらの資格や待遇の道を茲に記すに至つた動機ともなつたのではあるまいか。路加傳第二十一章の一節より四節に於てレプタ二個を神殿の賽錢箱に人知れず隠れるようにしてそつと音を立てないように投げ込んで引き返さふとした。今迄殊更に賽錢の音高く箱に投げ入れて人の注意にとまつた、誇り顔にありあまつたはした金を投げ入れた虛榮のこりかたまりである人達には見向もされなかつたイエスは此可憐なる見る影もなき貧しき寡婦が一切の財産を舉げ其心込めて投げ入れた微ではあるが人の肺腑に徹底する音に耳かたむけて其寡婦の立派なる心事を賞揚せられた。其婦人の名前が此所に記されてないのは何だかもの足りない心地がするやうだが、蓋し其名の記載せられてないのは其寡婦の本望とする所であらう。又實に讀む者をして神々敷く思はせるのである。世の多くの寡婦に望む所は此貧しき無名の寡婦の精神があつてほしい。寡婦と云つても子係りか、然らずば孫係りでない人は少いのである。故に余は教會の多くの寡婦達に望まざるを得ない、即ち其得たるものを聖別して彼寡婦の如く一切を神に献げて常に心を厚くして主に仕へんことを。

使徒行傳第九章の三十六節

より四三節にタビタ(ドルカス)と云ふ篤信な婦人の事が記してある。此タビタは多くの寡婦達と心を合せて慈善の事に當つて居たから其友達から見ても多分寡婦であつたと思はれる。所が終に彼女は病んで死んだ當時ルッダに傳道して居たペテロは此報に接し急遽ヨッパに下りドルカスの家に到りて見るに、ドルカスの多くの友達等はドルカスが常に慈善のために作つた上衣、下衣をあれもこれもドルカスが作つたと涙ながらにペテロに示して其德行を頌した。衣服を作ると云ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にしても自分たのめに幾十重ね縫ふた所で何の尊いこともない。ドルカスが慈善のために温情と燃ゆる信仰とを以つて惻隠の心禁じがたくして作つたやうの心底からでないといくらしても全くの徒勞に属するのである。ドルカスは實に千古萬古の説教者をして引例せしめたか知れないのである。願はくば説教者に多くの材料を與へるような人とならねばならぬ。余は多くのドルカスの出でん事を切望して止まぬ。

其次は母の順番である

路加傳の初めにエリサベツの記事がある。エリサベツと其夫ザカリヤとは律法誡律之を悉く守つた共に神の聖前に正しい人であつた。のみならずザカリヤ夫妻は名門の出で當時神殿の祭祀部に於て勢力となつて居た事は疑はれない。此夫にして此妻あり、此妻にして此夫ありで、其間に生れたヨハネは婦人の生んだ中での最大人物であつたとキリストの賛辭を戴いたのも無理ならぬ事である。凡て夫として善き妻を與へられ善き子供を恵まれた事は人世の幸福これに如くものはなからう。

其次に此御方にすはせた乳房は幸なるかなと、エルサレムの女等が謳歌した聖母マリアの事に及んで見たい。傳説によるとマリアは十八歳迄エルサレムの神殿に居て宮仕へをして居た。所が男子の多き神殿の中に年頃になつた娘をとめ置くわけにゆかない。そこで當時の慣例に從つて此マリアを誰かに遣すと云ふ事になつた。さうすると大勢の人々が雲集して來た。此希望の人々に杖を渡して其中で巴旦杏の芽のふいた杖に取り當つた者は、此娘を貰ふ事になつて居たので、それが老ひたるヨセフに當つたのである。彼等は共に神命の存する所ありと信じて夫婦になつたと云ふ事であるが、此傳説が果して眞か偽かはいづれにしても、ヨセフとマリアとは實に優秀にして神々敷き家庭を造つたと云ふ事は、キリストてふ卓越比類なき人格がヨセフ、マリアの家庭からうみいだされたと云ふ事でも疑ふべからざる事實である。尚又如何にマリアが母として神の子を教養するに適したかは簡單ではあるが『マリアは凡て是等の言を心に記めて思想しぬ』（路加二ノ一九）と云ふのを見ても又イエスの行動が人として到底なし能はざる絶倫の能力を發揮し得たりしかを見るも喋々贅言を要せぬ。

蘇格蘭土では縦令水呑百姓であつても、我子供の中

より一人二人位は必ず牧師か大學教授に仕上げると云ふ意氣込みで家庭を作つて居る。それで親は子のため兄姉は弟妹のため弟妹は兄姉のために汗水流して鋤鍬を執つて多大の犧牲を拂つて居る。斯して蘇國からは大英國否な、世界に貢献する偉材を造り出すのである。若し夫れ我邦でも夫婦たるものが先づ此精神で祈禱を以つて起ち厚き信仰を以つて家庭を神殿となし、其生める子女を天父と人道のために供するの精神を有するに至らないならば到底神國の端緒は開けさうにもない先づ任じて立つべきは我々基督者である。斯て其家庭は惠まれ、其國民は無上の幸福を享け、人類の至福累り至るのである。此次には

娘の時代の事を考へて

見よう。

　我國では此時代は一般に十六七歳と云ふやうであるが、西洋では五十に成り六十に成るお孃さんが澤山ある。勿論これは獨身者が獨身で專ら神に奉仕する人を指すのである。路加傳第十章三十八節以下にマルタ、マリアの話が載つて居る。マリアは先生が御出でくださつたと云ふので、イエスを御座敷に御通し申して靜かに教への話を聞き始めたのであるが、其姉マルタは先づ何より先きに臺所に入つて何の御馳走をしようかと思ふて氣が氣でなく轉々廻りをした。そして主の御話最中の所へツカ〳〵と行つて、私の多忙であるのを顧ずに妹は此處に座つて御話をゆつくりとして聞いて居ます、どうか少し妹に云ひ聞かせて下さい、と主イエスに不平を訴へた。然しイエスはマルタの此態度に對して決して御賞りに成らなかつた。只主イエスはマリアは善き方を選んだと云はれた。余は今日の多くの婦人達が朝にはマリアの如く宗教に熱心にして主と交り祈りをし、晝にはマルタとして家事萬端に活動し夕には又マリアと日を送るのが肝要だと信じて居る。

路加傳第八章の二、三節にマグダラのマリア、ヘロデの家令クーザの妻及びスザンナの如き婦人の名前が載つて居る。此婦人達は凡てを捧げて熱心に主イエスに仕へた　第一番目に記されて有るマグダラのマリアは狂人であつたと云ふ事である。兎に角其他多くの婦人達も熱心に自からの財產を擧げてイエスに師事した。イエスは傳道會社から派遣された傳道者でなく又教會に聘せられた牧師でもなかつた。それで一定の生計の途を立て行くべき方法もなかつたが、謂ふにこれ等の特

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

志なる婦人の奉仕によりて、イエスは其生活を支へて居られた事であらう。今日でも指輪とか衣類とか其他婦人の財産を出して會堂建築のため、傳道のために盡す人々も少くない。此會堂(大坂教會)は二十餘年前に建築せられたのであるが、其茲に至つたのは一人の貧しき寡婦の献金が其一大動力となつてゐる。

要するに娘は專心神に奉仕

する事が出來、人の母たる者は娘の如き態度で專心神に仕へる事は出來ないのは勿論であるが、然し其天與の子供を通して神に御奉公申上ぐるようになされたいものである。これ母たるものゝ天職である。年齢が進んでは老の時代となつて專ら神の宮に出入する事が其人の無上の喜びであつて、『入日のよさ〳〵』と人に云はるゝようになりたいものである。アンナの如き人となり、パウロは斯かる人の爲には「義の冠」が天國に供へてあると云つたが、凡ての婦人が彼女の一生よと謳歌される樣に成つて貰ひたい。余はかゝる生涯を送り得る人となるの一助にもと路加傳使徒行傳などを熟讀せらるゝ樣に切に御奬めしたい。

品性と姿勢美

早稲田教會牧師 文學士 三井芳太郎

大學に『其家を齊んと欲する者は先づ其身を脩む、其身を脩めんと欲する者は先づ其心を正うす云々』とあるが、蓋し行爲を正しく保つには其心を正しくすることが根本であります。基督の所謂山上の垂訓を讀でみても、基督が開口第一に八福を說かれたがそれは心の貧き者、哀む者、柔和なる者、義を慕ふ者、心の淸き、和平を求むる者、此等の人が神の子であり地を嗣ぐことが出來、神を見ることを得と仰せられたのも心を根本から悔改めてかゝらねば宗教的精神的の改革は不可能であるとの大主意が窺はれるのであります。

釋迦が初轉法輪即ち山上の說教にも對照すべき最初の說法には四諦八正道を說かれたが其八正道と云ふのも、正心正意を意味するに外ならぬのであります。

私が更に古聖の言葉を多く引用しなくても行爲を正

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すには先づ其根本なる心を平和にすることが必要であることは今更多辯を要しないのであります。

然るに心を正しくし平和を維持するには如何にしたらばよいか、これが倫理上又は宗教上の大切な主眼點でありまして色々な說も從て出てくる事でせうが、今日の敎育家、宗敎家などに閑却されて居る一事がありはしないかと私は思ふのであります。それは行を正うするには先づ心を正うせんことを要し、心を正うせんには先づ姿勢を正うするが緊要であります。心の亂れて居るときは必ず姿勢の亂れて居る時であります。私は此夏或所で基督敎の說敎會の聽衆の一人となりましたが三人の牧師の老練なる說敎にひき換へ其姿勢態度がめちやめちやであつたので甚だ不滿足に感じました暑い折に手をポツケットの中に入れたりなにかして說敎するならばどんな力ある說敎も力を失ふのであります。今日の學生は學校に在る間は正しき姿勢を保つて居りませうが、家庭にあつては隨分如何しき風をする者が多いのであります。殊に女生徒の姿勢の亂れたのは最も醜いものでありますが、電車汽車の中などで多くの婦人の姿勢をお見受け致しますと體を正しくすることが出來ない方々を多く見受けるのであります。姿勢さへ正しければ外からも內からも誘惑にかゝるものではないのであります。

、然らば正しき姿勢とは如何と云ふことになりますが私の考は玆には精細に申上げることを他日に讓るとして要するに、物に動じない平和に穩かに心を維持しうることの出來る態度を維持すればよろしいので、心の亂れたとき不平不安の念慮のあるときは必ず姿勢も亂れて居ると云ふことをよく考て見てもらひたいのであります。私は東洋人であるからやはり東洋風の姿勢を採用するのでありますが、西洋では肉體美と云ふことが唱道され殊に美術の上ではやかましいのでありますが私の日頃念頭にあるのは姿勢美とでも申す可きであります。私は此姿勢美と云ふ點から佛像や佛畫を見まして大に快感を抱くことが屢々あるのでありますす平和な正穩な、柔和な、少しも動せない、ゆるみのない、すきのない觀音の姿勢などは私の最も美感を抱く所であります。心を正しくする事は勿論道德的奬勵と宗敎的訓練とが根本問題でありますが併し同時に姿勢即ち外形の態度の如何に私共の心に影響を及ぼすかを閑却してはならぬことゝ思ひます。殊に現代日本婦人は姿勢美の權化でありたいものであります。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社會之基礎（一）

衆議院議員
經濟會々長　島田三郎

私が是から論ぜんと欲する

所のものは、抑も社會の基礎は如何に成立つて居るか此社會は如何なるものから組立てられて居る歟、是を良くしなければ、國は良くならぬといふことから、其基礎根源を少しく御話して見たいと思ひます。

抑も日本人に對して、汝は國を愛するや否やといふ問を掛けたならば、其人は非常に不愉快に感ずるであらふ。何となれば、日本に生れて日本の國を良くしたいといふことは誰人も願ふ所であるから國を愛せない者は一人もない。併し乍ら、

此國を愛する其手段

に至りては寔に十人十色で、粗雑な考を持つて居るものもあれば、極く精密な考を持つて居るものもありて、國を愛する觀念は一つでも、其國を愛して、其實を如何に擧げるかといふことが問題である。私は此點から私の考を述べて見たいと思ふ。

凡そ國を愛すると云ふ人は、いつも政治的に解釋して居る。例へばもし國に不利益な行をなす人があるならば、此れを抑へて其の防害を除き、此れに據て國の繁榮國の幸福を高めたい。斯いふ人は即ち愛國者である又外國の危險が國に迫つてまゐり、此國が甚だ危いと云ふ時に蹶然起つて國の爲めに働く人は愛國者である斯の如く愛國の働きは大抵政治的に解釋せられて居つて、斯樣な國に對して不都合なる行ひを爲者内になく又外よりして力を以つて國を脅かすところの事變もない時代に如何にして愛國の事實を現はすかと云ふことは餘り人々の考への中に浮んで居らぬやうである。

國の繁榮と云ふものは

如何にして之を事實に現はすか、國の平和、國の進歩、國の幸福は如何にして之を事實に現はすことが出來るかと云ふ事になると、是は内憂なく外患なき時に於て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も、常に考へなければならぬ問題であるが、是れもやはり世間の人々は多く政治的に解釋して政治の力を以て愛國の事實を擧げんとする。然し政治は社會の反射であつて政治家は社會の人心社會の習慣に引入れられるのであるから、政治は社會の氣風と引離れて單獨に成立つものではない。故に社會の基礎が安全であつて始めて國は安全、社會に良風美俗あつて始めて國家は良くなる。斯う考へて見ると、先づ社會は如何に組織せられ如何に組立てられて居るかと云ふことを考へるとは極めて必要なることである。

社會は何物からなるか

を考ふるに、先づ此社會を組織する前に一の團となつて居つて、世が進歩すればする程、其結合が立派に洵に美しく成立つものは何であるかと云ふと所謂家族の團體、言ひ換れば家庭と云ふものである。而して此家族の大なる團體が即ち社會であるから、此家族の中に良き風俗が行はれず、此家族を組立てて居るところの人が善良でなければ、美しい家族を見ることが出來ず又良き社會を現はすことは出來ないのである。此家族の風習と云ふものが即ち社會の反映ともなるのであつて、此家族の中の風習が破れますれば即ち社會の破れとなつて、延いて國家を危ふすると云ふことになる此處になると、所謂内憂外患なくとも家族の上の善し惡しと云ふことが永久絶えず國家の上に影響し、社會の上に影響する此理を考へれば家庭の整肅と云ふことと家風の純潔と云ふことは即ち社會の良くなる根源であつて、國家の基礎社會の根柢は茲にありと思ふのである。さうすると、家族の中の風習は極めて大切であつて、

家庭の整肅家風の純潔

と云ふことは、愛國者の最も絶えず考へなければならぬところの大切な事實である。茲に於て家庭が紊亂するか、不潔の狀態が存するかは結局一般國民の破れとなるのであつて、是が如何に國勢に影響をするか、實に重大なる問題である。抑も次代の國民は何れから出て來るかと云ふに、此家庭の中に育て上げられたる者が社會に現はれて、國民の列に入るものであるから、此小國民の成行と云ふものは、後來國家の繁榮に赴くか、國家の衰頽に赴くかと云ふところの根本の基礎である。故に此中に、若し不潔の分子が段々繁殖すると

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此中に育て上げられた青年は邪まの道に這入らざるを得ぬ。青年にして邪まの道に這入りますれば、後日それが現はれて社會の悪い分子となつて、社會を弱めるのである。而して是が多數になると國家の基礎が動揺することになるのである。此う考へて見ますと、ここに

近時識者の眉を顰むる事實

著しく人の心を打ち、人の耳目を牽いたものが現はれて居る。即ち東京市内で少さきは十四の年齢、長せるは十七八、是等の少年が警察官の目に餘つて、餘程多數警視廳で調べられて、其人々のいろ／＼な行を問はれたのである。此間はれた人々は、不良少年と云ふ文字の中に這入つて居る人である。是まで屢々此事件は繰返されて、アチラの區でもコチラの區でも不良少年が現はれたと云ふので、度々警察署に呼ばれて、人の眉を顰めるやうな事がありましたが、是まで拘引せられたのは、大抵男子の少年或は青年で、十四以下の者は見えないやうである。處が近日拘引せられた或る者は檢擧せられた其中には少なからず青年婦人が居り、少年婦人が居ります。尤も不良少年は外國にもあり。不良少年を感化する爲めに、特に感化院と云ふものを設けて世話を燒くのは諸外國にもある。併ながら諸外國で言ふ不良少年と、日本で屢々繰返された、特に近日拘引せられ又は檢擧せられた人を新聞紙の報道に依つて見ると、稍ゝ種類が違ふやうである。

不良少年と云ふものは

捨兒で誰も順良に育てゝやるものがなくして、不幸にして、極く嫌はしきところの毒に觸れて不良少年になると云ふのが、不良少年の徑路である。で外國に於ける不良少年の出るのは貧民窟であつて、親は子供を世話することが出來ない、或は親が子供を捨て放してしまつた、其者が悪い人の手に掛つて竊盜を教へられるいろ／＼な悪事を教へられて、終に不良少年になると云ふのである。處が屢々首府の東京に繰返される不良少年は、此種類のものは今まで檢擧せられた中にはないと云つて宜しい。それはどう云ふものであるかと云ひまするど、大抵衣食に不足を告げないところのものであつて、親は之を學校に送つて、或る者は高等小學に、或る者は中學程度の學校に、或る者は更に進んで高等教育を受けつゝあるところのものゝ中に是が現

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はれたことは、貧窮にして子供を見取ることの出來ない家から出る種類の不良少年とは全く類を異にして居る。又或る者に至つては唯衣食に事を缺かざるのみならず、

閲歴あり門閥あるところの

家の子供も此中に見出したのである。

それから、更に其中に目立つて私の記憶に殘つて居るのは、第一高等學校の中に、其親は醫業をしてお出での方で立派な生活をして居る所謂高等職業であつて、此人の子供で高等學校の入學試驗を受けた時には立派に及第して、更に學校の中でも才子と言はれ、誠に優等の階級を占めた人である。此人がやはり此中にあり、警察官の調によれば、道樂をして終に身を持崩し、(それでも餘程學才のある人と見えて學校の中ではやはり良い席を占めて居つた)放蕩の結果同級生の物を屢々盜つた、初の中は學校の成績が宜しいので疑を受けては居らなかつたが、屢々左樣な事をしたので、嫌疑の末調べて見たところが、閲歴斯の如きものであると云ふので、大に世人を驚かしたのである。是は最近に現はれた不良少年の檢擧の時ではない。其以前に現はれて私が記憶して居る事である。

それから更に人爵の上に付ては上位地を占めて居る

華族の中にもやはり

斯の如き嫌疑を受けた人があつた。さうすると、是は其家が貧しくして教育の手段に事を缺いたが爲めに不良少年になつたと云ふこと〻全く違つたものであるから、金の上、教育の上に就ては乏しきを感せずして斯の如くなつたのである。更に最近に現はれたところの不良少年の婦女、是は立派な店を持つて居るところの人の娘さんであつて、さうして多くの人を使つて居る此使つて居るところの人を、或る關係からして不良の仲間に引入れて、自分も行を淫り、其使つて居るところの下婢もやはり不良の仲間に這入つて居つて、嫉みの爲めに、或者を頼んで之を毆つた、斯う云ふ事の罪状に依つてやはり檢擧せられたものである。斯うなつて見ますると、或る種類の人は人爵の上に於て、人の上に居る人である。或るところの人は高等職業を持つたところの人の子供である。或る者は立派に

財産ある富める商人

の子供である。是が男女合せて少なからず世に現はれて、不良少年と云ふ名の下に警察官の手に拘り、其甚だしき者は遂に牢獄に送られ、犯罪人の部に入られたと云ふのが此顛末であるが、是は如何なる事を意味するかと云ふことを私は諸君に問はなければならぬ、

貧窮の爲めに教育の手段がなくして、斯樣に陷つたと云ふ譯でもなければ、其親が恥しいところの職業の爲めに世の中に對して一向責任を感じないで、其子供が左樣になつたと云ふ譯でもない。親は相當なる金を出し、更に進んで立派なる大なる人にしたいと云ふ希望を以て、學校に子供を入れて居るのであるから、此種類の人は決して世の中に影響のない種類の人ではない抑も中等社會の人は國の脊骨だと或る者は言ひますが實に其通りである。富貴については餘り上級を占めて居ると云ふと世の中と懸け隔つて、心神を使ひ、身體を使ふことが出來ないから、富貴の人は心が遊惰に陷る、又貧しくして、衣食の事に全力を注がなければならぬと云ふものは、世の中の事を考へることが出來ない。然らば國の運命を繋ぐものは何物であるかと云ふと即ち己の力と心とを相當に働かせて、子孫を教育し資力もあり。更に自分の力に依つて常に世の中に活動するところの機會を捉へ得るものであつて、充分に智力を働かせ得る中等社會の人が**國の命脈を繋いで居る**のであるが故に、人間の身體で見ますと脊骨の如きものである。其故に中等社會の最も健全なる國家は、最も健全なる國家で、國の進歩も出來れば、國家の安寧も保持せらるゝ理である。然るに其中等社會に屬する人の子供に、唯今のやうな檢擧されるところのものを續々出して、更に是が女に迄及ぶことは國の安寧進歩に取つて甚だ氣遣はしいことであると思ひます。さうすると、國を愛する人に敵國外患の國を脅かすと、即ち其非常のことを憂ふる心があるならば、何故に斯樣な出來事に考を向けないか。內部に不心得のものがあつて、國の安寧秩序を紊るものは甚だ憂ふべき事であるに拘はらず、常になくして偶々あるものを憂ふるところの人にして續々斯樣な事の繰返されるのを國の運命の爲めになかなか重大なる責任がある人でも、何故に之を憂へないのであるかとの問を發せざるを得ぬのである。諸君は是等の事實を如何に考へられるか、是れ實に國家に對し重大なる關係を有する者にして、一日も等閑に附することの出來ない者である。然らば之を救ふは如何にすべきや。是亦是非とも思を致さなければならぬ。問題である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

哀悼

故ブース大將を悼む

日本禁酒會長　安藤太郎氏

基督曰く『われ誠に爾曹に告ん天の下いづくにても此福音の宣傳らるゝ處には此婦の行し事もその記念の爲に言傳らるべし』と。私はブース大將の記念會に於ても、此聖句はよく適應して居ると思ふ。實に天の下いづくにも、基督の福音の宣傳へらるゝ處には必ずブース大將の行し事も、その記念の爲に言傳へらるべきである。

本日私は唯に一個人としてのみならず、日本禁酒會を代表して弔辭を述べたい、又それが至極適當であると信ずるのである。我日本禁酒會が設立されてより三十有餘年、而して今や支部凡そ百、會員約萬を數へるに至つたが、然しながら其最も進歩發達したのは極めて近年の事である。指折り數ればブース大將の來朝の時からである、と私は斷言して憚らないのである。ブース大將が明治四十年四月十七日に入京されて以來數日の間、東京市會、帝國ホテル、東京座、澁澤男爵邸或は青年會館等に於て演說をなさる度毎に、飲酒の害毒を論ぜられない事は唯の一度もなかつたのであるブース大將が日本禁酒會に與へられた後援は、實に計り知られない程なのである。大將が全世界の名譽と光榮とを身に帶びられて、熱心に禁酒演說をされた故、爾來我等の事業は非常に好都合に運ばれる樣になつて來たのである。日本禁酒會がブース大將に負ふ所、實に計り知り難いと云はねばならぬ。故に私等は『禁酒軍のブース大將』と云換へて居た程である。

而して今や吾等はブース大將の死を悼まねばならぬ樣になつて來た。大將にとつては死は何でもない故、喜び勇んで昇天をなさつたであらう。然しながら大將が天上に於て獲た所のものは、吾等が地上に於て失つた所のものである。それ故に吾等が大將の逝去を泣き悲しむのも無理のない事である。

然し吾等はたゞ死を悼むのみでは決して滿足が出來ぬ吾等は是非とも勇を鼓して弔合戰をせねばならぬ。昔者毛利元就は弔合戰に依て陶晴賢を滅ぼした結果、領邑十國に跨り中國一の雄藩となる事が出來たの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

である。吾等は此際に勇んで弔合戦をして士氣を鼓舞し、以てブース大將在天の靈を慰めねばならぬ。傳道、慈善、廢娼、禁酒等其外諸ての善事に於て弔合戰の戰場に立たねばならぬ。

（ブース大將追悼會に於ける弔辭の大意、讀賣記者の筆記に據る）

噫乃木大將夫人

乃木大將夫人靜子は、鹿兒島縣藩主湯地定之氏の七女で、今年五十六年、大正元年九月十三日明治天皇御大葬の日に夫將軍と共に自盡して先帝の御供をなさいました。

夫人は血色のよい、顏容の凛々しい、締りのある風姿のお方で、そう快活と云ふ方でもありませんが、緊りした賢婦人で被居しやいました。明治五年、その父母と共に上京された頃は、まだ十五の小娘で、乃木將軍に嫁されたのは、今の豫備陸軍中將伊瀨地男爵の媒妁で、將軍がまだ少佐時代、西南役の後でありました。

御姑は、元より名將軍乃木大將を生まれたお方であるから、世俗とは違つて居られたには違ひありませんが、何方かと云ふと精力强い、萬事が手嚴しい方で、殊に飲酒の嗜みさへあられたので、一口に申せばその嚴格な、八釜しやの姑にお仕へするのは、うら若き夫人の身にとつては、隨分辛い事でありました。けれども夫人は、忍びに忍び、耐へに耐へて、あくまで自我を沒して嫁たるの道を盡されたのであります。

其内に勝典、保典の兩氏も生れて、さなきだに事多い靜子夫人は、母親として、亦その心と力とを分けねばなりませんでした。世事に對しては何等の野心も無い將軍も、子供の敎養に就ては、人一倍に意を用ひられて、或は學校から自宅までの距離を計らせたり、或は不意に空銃を放つてその膽力を試されたりした位で殊に夫人が子息に對する一擧一動に關しては、綿密な注意を拂つて居られました。此の場合秋毫の手落でもありましたら、直ちに將軍のお小言が出ると云ふやうな次第でありましたから、夫人非常の苦心を子息の敎養に注がれたのであります。

子供の事に關しては、どんな事でも傭人や下女下男に任せないと云ふ考へから、その衣服の仕立から、洗濯から、果ては綻びの繕ひまでも、自分でされたので之は勝典、保典の兩御子息が、戰死されるまで續けら

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れたのであります。その多忙と努力とは、到底並大抵の婦人には出來ない位、しかも華族の奥様となられてまでも、此の務めは變りがなかつたのであります。

　それ程熱心に敎育に盡されたが、決して壓迫主義の窮屈なやり方はなく、子息には比較的自由を與へて居られました。乃木家を訪問した客は、その隣室に兩令息の柔道の稽古のもの高き音を聞くことは珍らしくありませんでした。時とすると間の唐紙を推し外して兩令息が折重つて客間に轉げ込むこともありましたが將軍も婦人も決して叱責せられるやうなことはなく、微笑みながら見て居られるのが常でありました、けれども禮儀、作法の點に就ては、何處までも嚴しく訓へられましたので、誰れでも其の御子息の行儀のよい事には、知る程の人は皆感心して居られました。子供は親を照す鏡であります。この令息の母であつた靜子夫人も、亦稀に見る愼ましい婦人で、年若くして嫁入されてから、伯爵夫人としての昨日まで少しも變つた處なく、家庭の主婦としての務めを盡して居られたのであります。

　勝典、保典兩令息の外に、三人の令孃がありましたけれども、二人は夭折し、一人の令孃は十三四歳までは存命せられましたが、終に是も黃泉の客となりました、それやこれやで心を痛むる間に、將軍は獨逸に留學されて、その留守を守る事になり、氣六ケしい姑に仕へ、男爵夫人となつては愈々多忙になり、努力は一層の辛勞を增したのであります。其中に將軍は、臺灣總督を拜して、任地に就かれますと、母堂も共にとの仰せで、同行なされましたが、間もなく母堂には客地で病に患られました。其時！靜子夫人は愛兒を內地に殘して、單身將軍の任地に馳赴かれ、老病篤き姑を看護して、其の最後を心安くせられましたその苦心！自分の身に引比べて考へて見ても分りますが、並大抵の事ではなかつたので、知るも知らぬも讃えぬ者はありませんでした。

　努力から努力、辛勞から辛勞へと、寧日無かつた夫人も、兩令息の成長を見ては、さすがに樂しみであつたに違ひありません。がそれも束の間、兩人とも、旅順の朝風に露と消えて終ひました。大將夫人と稱えられ、伯爵夫人と讃美せられたる靜子夫人も、その過去三十餘年の苦心の跡と、その悲慘なる愛兒の最後を思うては、如何ばかりか淚多いことでありましたらう。けれども夫人は、唯の一度も女々しい淚を見せません

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

でした。

然うしてる内には夫將軍に仕へて貞節を盡し、外には優しい賴母しい御方として、世の人々に慕はれました。併し多忙と努力とは遂にその身邊を去らなかつたのであります。ですから外出などは滅多になさらず、所謂交際社會と云ふやうな方面には餘り顏出しはなさらなかつたので、何々婦人會など云ふものには、名目だけは出しても、出席すると云ふやうな事は殆んどありませんでした。況んや上流社會に流行する物見遊山や寄席芝居などへ出入された事などは、たゞの一度もなかつたのであります。

嗚呼、遂にその氣骨の安まることのなかつた靜子夫人の五十四年の生涯は、眞に奮闘の歷史で、更に貞操のレコードでありました。

乃木夫人の殉死に對する三女流教育家の感想

最も進歩的な然うして又極端に武士的で外國人に閑視され乍ら主義に於ては一歩も讓らない矢島女子學院院長と、此は又美しい武士の家庭に育つて、優しい中に武士の俤のある三輪田女學校長と、最後に男勝りと言はれて急進的な實際的な思想で實業的教育を今の女子に施すといふ嘉悦孝子女史を叩いて乃木夫人の殉死に對する意見を徵した。

▲矢島女史

「美しい事は實に忠君愛國の花です、けれど文明の今日決して奨勵するとは出來ません、唯だ乃木さんの態度は一點批難する所がありません、先帝陛下に仕へて殊功を樹て、顯職にあつて部下を愛し勵まし果は學習院の多數の子弟を預かつて寢食を共にして躬ら武士の模範となり 武士的教育を後進に施された將軍の一生涯は盡くして居られるでせう、大將自身も或は先帝に仕へて其業を終つたと思はれるかも知れません。先帝陛下に別れ奉るの哀しい餘り己に先帝の爲に身も心も捧げた以上、今日の事のあるのは當然の事で何とも外に術はなかつたでせう、將軍が假りに生存せられたとして此上にすべき事は何でせうか忠君の精神發露は殊遇を受ける陛下にお供するより外はない、無論軍事に教育にあれ程の偉傑は今の生ぬるい世の中には居て頂き度いけれど、大なる忠君の心を死に依つて表はして後進者を勵ました實際の模範は將軍以外に誰にも出來ますまい。

▲夫人に就ても

私は美くしい婦人の最後だと思ひます、君に仕へる夫の誠忠に感化された夫人としては共に逝くのは當然の事畢竟將軍とは一身であつて餘念なく お夫妻の信賴して居らしつた有樣が想像しても美はしいと思はれます、迚も〳〵此心事が西洋人には解りません、死なでもの事に馬鹿らしい事を位に思ふでせうがね、併しミス、ミリケン（卅年も同學院に教授となり傍傳道に從事する米國婦人）は長く軍人間に傳道をして居ますので少くとも將軍が忠義の爲には身も惜まない精神丈は解つて居ます、で其

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

經驗を聞いても何んなに傳道してもキリスト教信者にならないのは乃木系の兵士で、あの山岡さんが失明して癈兵や盲人の爲に心身を盡して居るのも乃木さんの感化ですから、明治の聖代にある偉大な聖天子があられて、乃木さんがあり乃木さんの忠義の典型があつて忠誠の軍人があるのですからミス、ミリケンも感じ入つて乃木さんを信頼する其心で十分だと言つて居られます何しろえらい世の中になりましたね、殉死を奨勵は出來ませんけれど乃木さんの殉死は何れ程の影響を社會に及ぼすでせうか輕佻浮華の世の中は手ぬるい、生温い事をして居てはならないのですから茲で確乎たる精神が作られると思へば乃木さんは好い模範であつたかも知れません今醒めなければ覺める時はありません。

▲三輪田女史

「逝去なられた後になつてこんな事を申すも異なもので御座いますが、私は乃木さんの夫人さんとは意氣投合と申す程で、お親しく致した譯でもありませんが唯二度親しくお物申した事があります、大將部下の仙波中將は私の遠縁でもあります處から、よく夫人さんの御平生を伺つて居りますので御座ります、そして夫から推測致しても夫人さんの御態度はお可愛らしいと思ひます、之が所謂る情死などゝ同じには到底比較も出來ません又お子様方も亡い今日お跡をお慕ひなされたと言ふならば、もつと以前に御自殺でもなされたか、其迄でなくとも御病氣にでもおなりなさいましたらうが、彼の當時さへ實に泰然として居られて、私がお氣の毒と申上ましたら、夫の不調法から多くの人の子を失て、親々の悲歎を察しては何とも氣の毒で顏を世間に向けられません、二子が死だのがせめてもの申譯で私は小くなつて成可く世間の人に顏向け致ません、と涙一滴溢されない健氣さは大將のお心と同じ事で御座いますで今日、御貞人と御一緒に行かれた事は死す迄も夫に仕へる順從な優しい妻の振舞で夫から一ツとして非難致す點は御座いません、將軍にせよ夫人にせよ若し此を眞似る人があるとするならば實に立派な者ですが、迚もよくする人は御座いません又徒らに眞似るならば夫こそ惡德とも、悖德とも申様は御座いません、自殺と言ふ事は出來るものではありません。

▲嘉悅女史

「私は乃木將軍の御大事を伺つた時には胸が塞がつて、唯だ大將の事許り思つて扨て靜かに夫人の事を思ひました、妻として夫に殉するのは當然の事、最も立派な典型と思ひます、眞逆の時には夫と共に死ぬ覺悟でなければならないと唯今も申して居た所、將軍の男として、夫人に女らしい妻として今日の惰弱な世に好模範となられましたので、私は實に神だと思ひます神棚に祭つても好い方だと思ひます乃木さんが御自身活きた模範になつて乃木さんに育てられた多の人の中から小乃木が出來、更に育つて同じ大乃木が出來る日の來る事が望ましいので御座います、夫人は質素な生活の模範となられて居た事は、私の最も嬉い事で現今の夫人方が日用の費用も定めないで餘裕のない生活をしながら、外見を飾つて苦がつて居られる、夫程苦しんで、外見を飾らなければお米が高いとて周章るには及ばないのです、夫人の此の事があつて一層夫人の美點が發揮されたのだと存じますでれ私は眞逆の時の死ぬ覺悟に早速死方を習ひました、死にかけて死に切れずの、打廻つて見苦しい樣ではとれ、夫で懷劍を出して見ましたら錆びて居りましたから早速研ぎにやりました、必然女子商業にやると自殺を眞先きに教へられると恐れる方があるかも知れませんよ」と大笑された

三女流教育家が述べられた所は右の如くである。(東京朝日)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

米國よりの書狀

小崎夫人に何かお話をと乞たるに、私が話をするよりも伜の書面を上ますからと二三通の書狀を渡されました。(令息は神學研究のため去る六月渡米せられたのであります) 夫人の御言葉に『どなたでも我子の遠方に行くに當りて心勞せぬ方は少いでございませうが、私は前年主人と彼地の有樣を見て事情を知つて居りますから安心して伜を出してやりました、この手紙の通りであります。』

△第　壹　回

出發の際は種々御世話樣に相成り難有御禮申上候、出帆後一日は波かなり高く稍々船えひを感じ候も其後は平靜にて愉快なる航海を續け候、船室の方は何の音沙汰もなく全く三等船客として終りまで面白き珍妙なる生活を致し候。之れが小生の希望故却つて滿足致し種々なる教訓を受候……ビクトリアより一寸父上へ繪はがきをさし上し如く、幸にもビクトリアには船中一等客の知人の御馳走にて生來始めて二頭立箱馬車及び快速なる自働車に乘り、所々見物實に〳〵愉快に候ひき、其の人は美しき令孃にてビクトリアに結婚に來りたる人其夫の方が小生及船長と合計三人にて自働車に乘りビクトリアの二公園並に市中悉く案内なし下され候……船中にては食物其の他ずゐぶんひどく新井樣始め心配なされ候も小生は到つて平氣にて下等社會の研究をした樣にて反つて大いに感謝致し居候されど婦人は決して三等にて行くものにあらずと深く感じ候……船中にては上記の令孃其他五六の學生上りの青年男女ありて、歌かるた、トランプ、ボール、輪投等あらゆる遊を致し、食事も忘るゝ程に候ひき、小生は食時の外殆んど室にあらず遊び居候、毎日天氣よく波は殆んどなく至極平靜な航海を致し檢査も案外簡單にて一二等客と殆んど同時に上陸致し案じた程にあらず全く安く十五日の旅行を終り候。

上陸後も到る所に意外の親切を受け世間はやはり善いものと深く感謝致し居候……萬事新井樣と共なれば兄と旅行する樣にて何の心配も苦痛もなく實に呑氣な

ものに候。

△第貳回

シヤートルに六日朝着十日迄滯在所々を見物仕り候久布白氏は避暑旅行中にて御夫人と令息のみ留守なされ居始終食事その他全體の御世話に相成り且つ夫人は小生の來りたる事を大に喜び下され候……中木樣には七日朝電話をかけし故來訪下され外人の組合教會の禮拜に參列致し候、なか〳〵盛んにて凡そ四百の男女有之候會堂は新築にて二十萬弗を要したる非常にリツパなるものに候、シヤートルに於てさへこれ程に盛んなる禮拜があるかと米人の熱心には感服仕りその他日曜學校教室すべて完備致し居候、七日午後には中木樣とエレベーターに乘り Y.M.C.A. を見物東京の青年會館の十倍位の廣さにて水泳場、運動場、食堂、旅館より工場學校に至る迄一として備へられざるもの無之如何に米國の Y.M.C.A. の盛大なるかが見られ候其れより町を見物致し候、父上の御來遊當時と比較して今日は非常の發達の由に候、十ケ年の間に人口三倍したる由にて東京が非常の速力にて變化發展すると驚く日本人にはとても想像もつかざる進歩に御座候。

九日には一人にてデパートメントストーアを見物致し候三越位のはめつたに無之大抵は三越の二三倍もしくは十倍も有之候うつかりすると店内で迷子になる程百聞一見にしかず母上より度々話に聞て居りたれど實物を見て益々驚き候……實際當地にて日本婦人の日本服は見る能はず母上の勇氣には感服仕り候。

十日午前十時ユニオンステーション出發ポートランドに向ふ、シヤートルにて諸氏に好意を受けしは全く父上母上の御陰と感謝に堪へず候

汽車は美しいものにて愉快に旅行致し無事桑港に着致し候、福島氏宅に參り小ぎれいな一室を與へられ洗面所、ベッド戸棚等ありてよき自由なる自己の家を持ち得候當地の氣候のよいのには驚き入り日々日本の三月位の氣候質にもつたいない樣にて候……今朝クリフの海岸に福島氏と遊び何んとも云へないよい所カリフオルニアのいゝのには殆んどびつくりにて樂園パラダイスも尚ほ言ひ盡せすと存候。(以下次號)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

無題錄

安中花

○目には見えねど風のさゝやきにて、秋姬の消息はさとられつ、「一葉落ちて天下の秋を知る」と、實に然り、されど一花開いて天下の春を知る、また難からんや。

○思はぬ人よりの文は机上に多きに、思ふ人より何の音づれもなき、寂しくもいらたゞしさの限りなり。さはれ思ふも思はぬも元これこの心一つのゆらぎのみ、心一つのゆらぎなれば心一つに靜め得べけんものならめなど若しき餘りの悟りも開き見つ。

　暑き日や心澄ませば風の吹く

三伏の炎暑にも涼風あり烈風肌をつんざく嚴冬にも太陽は溫き世に、幸と云ひはた憂と云ふも所詮は心から我から出づるものにやなどおもほゆ。

○深夜寂として天地に音無し、我が胸中歌なく思なく宏大なる宇宙間に「我」の漂へるをも忘る、この間の消息我是れを稱して無限大より生せし無我の境と云ふ。

○曾て我思ひぬ、春日爛熳として輝く花と榮を同うし胡蝶の夢と共に消えなんかなと、然れど人は遂に眞の「人」たらざるべからず。花蝶と觀樂を共にすべき者には非りき。

○夕陽水と空を彩る時、獨り海邊に立ちて我が胸裡、崇高なる詩の潜めるを知りぬ。然れどそを表はさんの語に至りては、あゝ我是れを知らざりき。

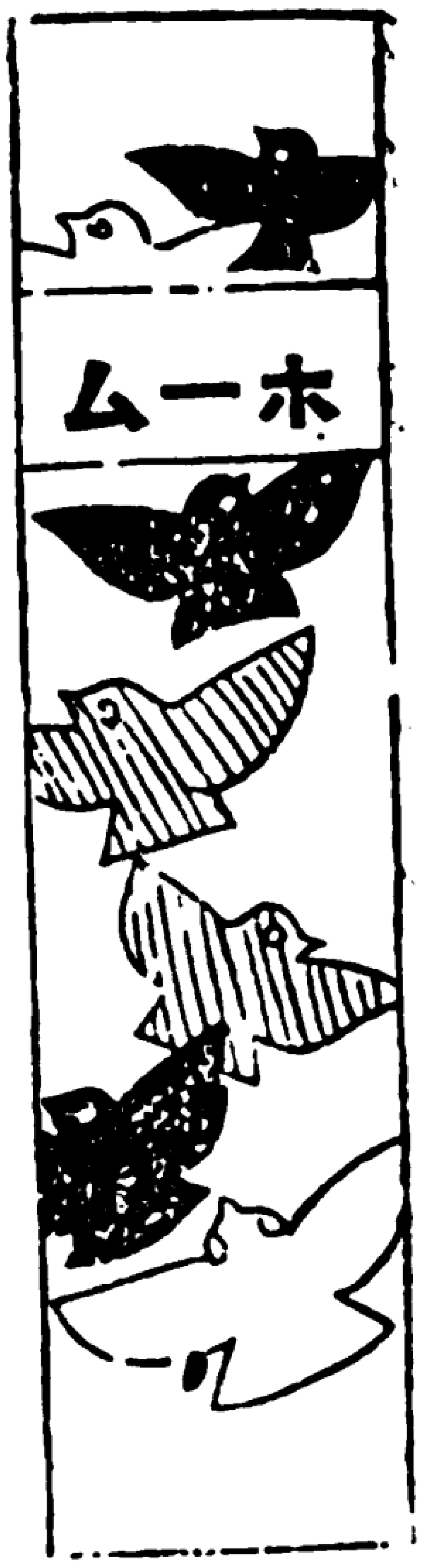
○ミルトンは言ひぬ、「眞のほまれとは、審判の神が終りの日に我等の行をよみし給はん其時にのみこそ生ずるものなれ」と、とても〳〵世に喜びにも悲しみにも足らぬは人のほめそしりにこそ。

林女史書翰の一節

只今夕顏の鉢を眺めつゝ花とり居候ひしに、二三十分の見る間に蕾より美しい〳〵花が咲きて僅か六七時間のまに其天職を潔くなし終へて曉をも待たで散り果つる樣を見て「天職論」を美しい花にあらはしたらばとつく〳〵眺め入り申候、今朝散りし夕顏を見て

　咲きいでゝ一夜のうちにそのつとめ
　　　なしをへにけりゆふかほのはな

博愛社の周圍は田畑にかこまれ殊に小橋主婦が園藝に趣味を有し候へば、色々の花を植へて小供の教育の助を致居申候……



米國の家庭に於ける兒童の躾方

バチエラー オブアーツ 北村美那子

口返答は決してさせぬ

私は米國に九年程も居りましたので、米國の家庭に於ける事情は、大抵は能く知つて居ります故、彼の國の家庭に於ては、何んな風に兒童を躾けて居るかといふ事を申し述べませう。勿論彼の國の家庭のする事が全然良い事ばかりではなく、中には何うかと思ふものもあります。餘り我が國の家庭に採りて參考にならぬ事は省く事に致しませう。

燒野の雉子、夜の鶴で、何れの國でも、子を愛する人情に敢て區別あらうとは思はれませぬが、就中、彼の國では子をいたはるやうでありますが、之れは如何なる理由か、思ふに彼の國の人は、宗敎が盛んなので神に對する信仰といふ事は、我が國人の遙に及ばぬ程に厚いのであります、そこで子供なども神から授かつたもの、神の子といふ意味から、吾が子を愛する事が、我が國人より深かいのかと思はれます。

けれども、若し子供が惡い事でも致しますと、「お前は斯く斯くの惡い事をしたら打ちます」と言つて臀部を打ちますが、日本のやうに頭でも何處でも處構はず打つなぞの事はいたしませぬ、殊に頭に手をかけぬといふ事は餘程よい事と思ひます。

そして如何なる場合でも、親の命令に對して、口返答らしき事などは、絶對にさせませぬ、否子供自身に口返答などは致しませぬ、一體に長上に對しては、從順であります。

學校にでも通ふやうになれば、若し惡い事をした場合には凡そ二十分間なり三十分間なり椅子にかけさせて靜思反省いたさせます。惡い事を二度も重ねて致しますと、それ丈け、反省の時間を延ばします。此等は日本では多く學校内に行はれる事で、家庭では餘り見かけませぬが、此懲罰法なども良い事と思ひます。

頭からがみ〳〵大きな聲を出して叱責すると云ふや

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うな事は、酔狂の仕事として却つて人の擯斥を受けます。

これは畢竟子供とは云へ、子供相應の人格といふものを認めてやり、其の人格を尊重する結果から來た事と思ひます。

小遣錢の與へ方

日本では、子供が小遣錢を強請るといふと、構はず與へるやうですが、彼の國では、其んな無意味の與へ方はいたしませぬ。

彼の國では、子供が朝起きますといふと、必ず日課がありまして、兄は乳を絞り、弟は鷄の卵を集めるといふやうに、それぐ\一々命じなくとも、豫め定められた其の家の日課通りに、さつさと一人で致します。斯ういふ風に、一定の作業を與へ置きて、その勤勞に酬ゆると云ふ意味に於いて、白銅一個なり二個なりを與へます。

さて斯くして得た白銅若干は、常に貯へ置きて、自分の好む物を買ふのですが、向ふ見ずに使つて仕舞ひますと、後日入用の場合に忽ち差支を生ずるを以て、子供ながらも、几帳面に豫算を立てゝ使つて居ります玩具の如きも、此中より自分で買ふ事になつて居つて親が玩具を買つてやるといふやうな事は致しませぬ。斯くの如くして買ひ得たる事故、玩具なり其の他の物でも、非常に大切に扱ひまして猥りに破損すると云ふやうな事はいたしませぬ。

一體彼の國では、日本のやうに親が外へ出ると、其の歸りに土産物と稱して、何か買つて戻つて來る事や子供は之れを待つてゐると云ふ風なとはありませぬ。そんな譯でありますから、自分の金で自分の欲しきものを買うと云ふ風になつて居りますので、幼少の時代から、經濟的觀念や、獨立的思想が刻み込まれます前に申したやうに、彼の國では、親が玩具を買つてやらぬので、子供自身で買ふのですから、一體に彼の國の子供は、玩具を持つて遊ぶと云ふやうな事は少いのであります、其れ故、多くは庭園の草花を栽培して遊ぶと云ふ風であります。

大層意思が強い

以上のやうな子供の扱ひ方ですから、早くから經濟的觀念が刻み込まれる事は勿論ですが、其れと同時に意思の强固といふ事も養はれやうかと思ひます。それ

ですから、彼の國の子供はなか〳〵意思は强固であります。

尙ほ他の例で申しますと、彼の國では、子供が學校へ參りまして、會々當日の課業が、已に自宅で習つた處で、能く知つて居つて重ねて稽古を受ける必要がないと信じた場合には授業の中途で早退しても差支ない事になつて居ります。此等は日本では全く見ることの出來ぬ事で、此事が果して是なりと云ふ譯には參りませぬが、兎に角平素意思の確かりした子供に躾けて置きますから、子供が嘘を言つて授業の中途で早退して來たものであるとも親は思ひませぬ。即ち意思の修養上から申しますと、自己の確信を遂行するといふ其の意思は可い事であらうと思ひます。日本人は兎角依賴心が强いが、彼の國の人は獨立的思想に富み、他人に依賴せぬと云ふ氣象もかういふ事から自然に養はれる事と思ひます。

之れは意思の强い弱いと云ふ事には關係はありませぬが、學校の話の序ですから申し述べるのですが、彼の國の子供は、自宅で復習と云ふやうな事は、學校でも要求しませぬし、父兄も命じませぬ、そんな風ですから、宿題などは與へませぬ。尤も外國語の如きものは、稀に自宅復習をやりますが、其の他は全く致しませぬ、學校で復習までもやつて來るやうであります。

言葉遣ひが叮嚀である

彼の國の人は、互に物をいふにも一體に低聲で、日本人のやうに大聲を發しませぬ、又粗暴なる言葉も出しませぬ、殊に面白きは、假初めにも、卑猥なる言葉は勿論でありますが、靴下とか肌着とか猿股とか云ふやうな事は、申しませぬ、若し云ふにしても其の場合には極めて一段低聲に云ひます。

日本では來客の前をも遠慮せずに、シッコが出ますかとか、ウンチが出ませんかとか、平氣で而かも大聲で云ひますが、彼の國では、こんな事は不作法の極みとして避けまして、口外いたしませぬ。これは大いに學ぶべき事であらうと思ひます。

朋友の選び方

彼の國では、朋友の選擇といふ事を八釜しく申します、たとへば、『人を輕蔑するな、人の權利を害するな、あら〳〵しき行爲をするな』と云ふやうな事を、平素嚴重に敎へて置きます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斯んな風に小さい時から誨へて置きますから、人の權利を害すゝやうな事をせぬと共に、自己の權利といふ事も非常に尊重します。隨つて成人後に於いても男女間の關係に不仕鱈な事が起らぬのであります。

これは前に申したやうに、幼少の時よりの意思の修養と、權利の尊重と云ふ事が、大なる教訓となつて居る結果であらうかと思ひます。

吝坊でない

日本の子供は、珍しい物でも持つて居ると、他人には勿論親なり兄弟にさへ祕藏して置いて見せるのを嫌ふ傾きがあるが、彼の國の子供は好んで人に見せます

これは格別然すべきものであると誨へたのではないらしいが、畢竟は國の習慣の影響かと思ひます。日本では寶物其の他のものでも、鎖國主義であるが、彼の國では、開放主義である、何んでも珍しいものは、人に目につき易い所に說明まで書き添へて出して置くと云ふ風であります。

それが多年の境遇上、子供をして吝坊でなくした原因かと存じます。

臆面をしない

日本の子供は、他人を見ると、はにかんで、親が呼んでも出て來ないのが幾らもある。然るに、彼の國の子供には其れがない、それは、如何なる點より來たかと云ふに、彼の國では客來があると、如何なる用向を差し置いても、家中擧つて客の前に出て歡迎の意を表し、一言なり二言なり、何か質ねて、若し用向のある者は其の向きを斷つてから退座すると云ふ風にして、家內擧りて來客を待遇する、之れが軈て人に臆面しない風になつたのであらうと思ふ。

斯んな風に平素客に接して居る故、女でも男でも交際振りが非常に上手で、寧ろ巧言令色に傾いてゐるかのやうにも見受けられます。此點は面白くありませぬが、交際の上手など云ふ事、人に臆面をしないと云ふ事は、よい事と思ひます。

決して裸體にはならぬ

如何に暑い日でも日本の子供のやうに赤裸々になることはありませぬ、水泳をする場合でも、薄い着物を着て泳ぎます。又臂をまくると云ふやうな事もいたしませぬ。女は大人になると、胸の處が開いて肌の見えるやうな服を着ることがありますが、子供の時代には

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全く見えないやうになつてゐる。總じて肌を猥りに裸出すると云ふ事は避けて居ります。日本の子供が、赤裸々で往來に遊んでゐたり、人の見えるやうな處で、湯浴をしてゐますが、餘り品のよいものではありませぬ。

馬車で通學の送り迎へ

紐育や其の他の都會では、市費で支辨する學校付きの馬車があつて、通學すべき時間が來ると、馬車が一軒〳〵に子供の家に寄つて子供を其れに載せて、學校へ連れて行きます、又學校の退出の時間が來ると、矢張子供を載せて其の家へ送り込みます。これは、子供を保護すると云ふ上から來た事であります。

十八歳までは干渉する

女が十八歳になるまでは、親は彼れ此れと干渉するが、十八歳になれば、お前は最早や十八歳になつたのであるから、之れから先きは、自己の意思によつて、自己の行爲を判斷して、行動せよと誨へて置いて、其れから先きは敢て干渉を加へませぬが、間違も起りませぬのは、畢竟、是迄に意思の強固、獨立心と云ふものを養はれてゐる所爲であらうと思ひます。(帝國教育)

各課の一年間(續)

▲四十四年度少年部報告

部長　守屋東

四十四年度に於ける軍の數五十三、內新設九、廢したるもの三、人員總數七千名、少年課の設けある支部七ヶ處、報告を受けしもの丶數四十三。

三分の二以上の報告を領收したる時の喜と感謝とは實に堪へがたきものなりき、前年より初め居りし少年禁酒軍の教師會は本年度も毎月最後の土曜日にデビス師の室に於て愉快に有益に開催しぬ。デ師はまたよく一同を教導してます〳〵此事業の必要と責任ある事とを確知せしめらる、且つ出席さるゝ禁酒軍の教師諸姉は重に在京の青年部の會員なるを以て相互の親睦の上にも一方ならぬ便宜と幸とを得る次第なり。

四十五年の正月を迎へし時、例の如く一年間の標語を「善を及ぼすべし」と定む。

○本年度より少年禁酒軍人は義務金として一ヶ年間に一錢を納付する事を實行す、但し地方の事情軍人の家庭事情によりて納付しあたはぬものは例外とす。

○四十五年一月十六日より二十日迄會頭に從ひ大阪南地火災後の運動

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

後援の爲に大阪に行く。
○四十五年五月二十六日萬國婦人矯風會軍人課長ミセスサッチャーを博文館二十五年記念祝賀會の少年少女大會に案内し、巖谷小波先生の御紹介によりサ夫人は早稲田大學生若林兄の通譯にて四千餘人の少年少女に禁酒主義を皷吹されたり。
○六月一日京橋區銀座教會を借用してサ夫人紹介のため少年少女大會を開く來會者五百餘名なりき。
○旅行せし都市 神奈川、內郷、安中、原市、後閑、阪本、甲府、韮崎、日下部、藤山、市川、王幡、水戸、大阪。地方會員の諸般に準備の至れると熱心なる運動の結果、學校、工場、青年會、婦人會等に講話する機會を與へられしを感謝す。
○毎月少年新報を杉本姉と分擔して編輯し、現今は一萬五百枚餘を發行す。
○印刷物として小冊子或はリフレットを作り得たるものは西洋婦人矯風會文書課長ハワート夫人の御盡力による。(三ツ兒の魂百までも、鼻眼鏡の紳士、アルコール大王の會議等)
○今年度の初めにミス、デビスが永き歐州旅行をされし時、只五日間の少時日を學術的禁酒大會の席上に其御兩親と見みえられしのみにて母上が「米國を通りて日本へ歸りたらば如何」との恩愛の言葉さへ拒みて滿洲を通り朝鮮に立ち寄り二ヶ所に新支部を設立し、十二月に歸國されし事を思へば、如何にして斯くまで主義に忠實なる同師に報いんかと自づと勇氣も出て祈りを捧ぐるに至る。
○杉本青年部副部長が本年度に於て諸般に多大なる援助を與へられし事を感謝す。
○別表は各軍の報告を示す。

○金錢出納 收入之部一金拾圓本部より、一金六十四錢優勝旗修繕のため寄附、一金拾圓デビス師より寄附、計貳拾圓六十四錢也。支出之部一金五圓日曜學校大會へ寄附、一金拾圓謝禮、一金四圓七拾錢旗修繕費、一金參圓拾七錢車代及雜費、計金貳拾貳圓八拾七錢
○堺少年課報告 市內各教會の日曜學校生徒を集め一回の講話會を開く。久留嶋武彦先生のお伽話を願ひ、高等女學校の講堂に於て少年會を開く各小學校教職員初め生徒凡八百名來會す、少年禁酒軍の組織はなし。
○横濱少年報告 毎月或は隔月一回小集會をなし春秋二回大會を開く、少年禁酒軍を有す。
○靜岡少年課 本課の働として少年禁酒軍を有し、配布せし書類の數六百部、募集せし金額三十三錢なり。
○原市婦人矯風會少年課 二月十七日本部より少年部守屋東姉來着午後二時より會堂に於て少年大會を開く來會者貳百名。翌十八日午前十時より後閑村會堂に於て少年及婦人の爲に講話會を開く。同夜佐藤氏の宅に於て少年大會を開く來會者參百名なりき。原市町少年禁酒軍誓約小兒數は二十九名なり。
○フレンド少年課 毎月最終の日曜日には少年少女に禁酒學課を教へ折々は禁酒・禁煙に關して競爭演説會など催す。

○前號訂正

第百八十一號 に賞金を授與せられしは 高輪とあるは高濱少年部と訂正す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

軍名	軍の處在地	軍長名	現在軍人數	新入軍人數	例會開會數	課の働	少年新報購讀	主義擴張の爲に公會せしや	收	支	義務金	家庭社會に及ぼせし感化
一ノ關少年禁酒軍	岩手縣一ノ關	高橋よれ	一〇五	一五	一二	動物優待課	せず	せず	三〇〇円	五六円	未定	
麻布英和	東京麻布英和女學校	安中花	五八	三一	一〇	動物優待課花の課懸賞演説課	百部購讀す	四回開催す	六〇四	三九七	五八	良好なる感化を及ぼしたる事多し
四ノ橋	英和女學校内	岩崎あさ	一一	—	月一回	會員勸誘課	せり	演説會をなす	—	—	—	
宮村	英和女學校内	安中花	一六	六	八	懸賞演説課	卅枚ツヽ	せず	三〇	—	—	兄を禁酒せしめしもの
郵筒町	英和女學校内	安藤秀	一八	七	一〇	花の課懸賞演説課	せり	演説會をなす	八〇	六八	一二	
十番	英和女學校内	高木榮子	一三	八	一〇	動物懸賞演説課	せり	演説會をなす	—	—	一三	
谷町	英和女學校	林部知惠	一五	一	一一	懸賞演説課	せり	演説會をなす（毎年設立記念日に開く）（二月十一日）	—	—	—	未だ直接に見えざるも其感化多大なるを信ず
弘前	弘前中丸町九	ゾリッフヒス	七二	一七	一〇	動物優待課	百枚		—	—	—	
喜音	深川門前町	相川昇司	七九	三二	—		せり	せず	—	—	—	父親を禁酒せしむ
高輪	芝區高輪	山田まり子	九八	二八	月一回	花の課懸賞演説課	せず	年二回の豫定	一七〇	九〇	未定	大なる事なし
博愛	大阪西成郡神保津村	林惠	一一〇	一四	—							
ヤキルミ	大阪東區仁左衛門ウキルミナ女學校	西野貞子	二〇〇	一〇四	月四回	演説課圖書課	百部	五回開催	四九八	二、七二五	二〇〇	多大なり
彦根	近江彦根	武田徹	六〇	—								
釧路	北海道釧路	西垣釡男	二三	五	月一回		せり		三四五	三六一	—	ずゐ分迫害されながらも熱心に動きよき感化を與へ居れり
秋田古川	秋田市古川町	齋藤まき	四七	七	月一回	花の課動物優待	せり		五二	五〇	—	
秋田檜山	秋田檜山	アレプルスター	五二	—	月一回		せり		—	—	—	
高濱	茨城縣高濱	島田萬吉	六五	五	月一回			一回開く				よき感化あり小軍人を通して父を禁酒せしめしもの數名あり
石岡	同　石岡町	櫻井金十郎	二五	—	月一回			一回開く				
指ケ谷町	小石川指ケ谷町	津田質夫	六〇	六〇	月一回		せり				六〇	不分明
番町	中六番町	守屋東	二八	七	月一回	花、動物優待懸賞演説	せり		四三九	四三九		大にあり
山口小郡	山口市湯田町	廣田やゑ	四三	四三	四回		せり		—	—	—	日猶淺き爲に公に表はせず
橫濱	中村町一二八九	伊藤針作	八一	一八	八回	演説課		一回開く	四五〇	四三五		兄及父を禁酒せしむ
熊本	熊本市水道町	瀧本梅作	二五	二五	四回		五十枚		七五	七五	一〇	

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

山梨	甲府市	ミス、アルコーレ	二八	二八	月一回		多數配布す				
靜岡	英和女學校	夏目つぎ	一五	一五	二回	動物優待課	なす	三三	|	|	一禁酒軍人を日曜
福島	福島市新町	河村光也	七	四	月一回	演說會	せり	三四	二五	|	一學校へ入校せし〜めし外別になし
江尻	靜岡縣江尻	田村德	五〇	五〇			五十枚	|	|	|	大にあり
京都	京都小聖寺	八木小春	二八	二八	月一回	花の課	せり				
千駄谷	府下千駄ヶ谷	倉地まさゐ				花、懸賞演說課	せり				
南町	四谷區南町	……			數回		せり				
矢來	牛込區矢來町四	石塚重藏	四〇	四〇		懸賞演說課	せり	一九六			
高田	高田岡嶋町	松岡					せり	一五〇	|		
玉幡	甲州玉幡	堀内秋平	一六								
土浦	土浦基督教會	松井繁松	一六〇		毎日曜		せり	友會より補給す			甚だ良好なり
盛岡	盛岡市内丸	……			毎		せり				
西教會	大阪西區阿波座	淺尾鞆野	六〇	三〇	毎月一回		せり				

▲傳道課　渡邊しげ

城北婦人矯風會にては月次例會を開かれ、基督教並に禁酒の書類を配布せし事數百冊なりといふ。靜岡にては傳道の目的を以て會員外の人を訪問せし事十回にして書類の配布は約百冊のよし。堺にても同じく傳道の目的を以て訪問せし事十回にして會員各自此の精神を以て働き居らる。佐賀にては毎月二回佐賀郵便局職員に傳道の傍ら修身講話をなし良好の結果を得られ、尚ほ書類も多數配布せられしとの事。藤岡にても本課の爲には始終盡力し居らるゝ由。大阪にては祈禱會二回を開かれ會員は勿論この課に重きを置かるゝとの事。

▲懸賞文學課　伊藤元子

本課の設ある青年部は神戸女學院、山梨英和女學校、東洋英和女學校フレンド女學校にして、東洋英和女學校にては英語演說會をなし、其他は邦語演說會を開きたり。

少年禁酒軍にて本課の設あるは大阪ウキルミナ女學校、福島、麻布箪笥町、同宮村町、東洋英和女學校、麻布十番、同谷町、横濱、フレンド、高輪、水戸等なり。懸賞演說會を開きし少年軍は、麻布十番、同箪笥町、同宮村町、谷町一組となりて一回を催し、東洋英和女學校少年軍は四回、フレンド及高輪は一回を開催せり。

懸賞演說會に非ずして普通禁酒演說會を催せしはウキルミナ、福島の少年禁酒軍なり、合計懸賞演說會十一回、普通禁酒演說會三回也。

演說會は一般に非常なる好評を以て迎られ、直接間接に禁酒禁煙の必要なる感を起さしめつゝあり、希くば諸所の會にも此の課を設けられ以て益々大なる收獲を得られん事を。

禁酒演說集其他も則御入用の方には郵送可致候。
島根縣八束郡西組屋にて

おとづれ

◎本部たより、

九月五日午後三時より富永姉宅にて常置員會を催し、御大葬當日奉送につき協議する所あり、いまだ警視廳より許可の報に接せざりし際ゆゑ各自自由に奉送すべく決しミスデビスは此旨通知する事に決す（其後九日に至り三百人奉送許可に相成旨通知に接したり）

○萬紀報告、萬國本部より、ソマセット夫人及會頭カーライル伯夫人の御病氣御快癒並にスツチヤー夫人無事御歸米のよし報知ありたりとの事、婦人新報會計の報告。ブース大將の御永眠につき山室大佐にあて矯風會を代表して矢島會頭より弔辭を贈呈したる事、來年度大會は渡邊常子姉の御盡力により山梨にて御引受被下る事に運びたりとの事。

○祈禱會　當日は富永姉の令息米國にて御入院治療中と承り急に祈禱會を開きて御全快を祈りたり。

出席員は矢島、杉本、根本、富永、守屋、栗原、高原の諸姉。

◎堺市婦人矯風會

七月廿四日午後二時堺市大濱公園内公會堂に於て公演會を開く。東京早大講師内崎作三郎氏は神戸に於て開かれたるキリスト教夏期講演會の招聘に應じて來神せられし歸途當地矯風會員の乞を入れて來堺せられ又同氏の快諾を得たるは大阪支部長林歌子姉の御盡力を深く感謝する所なり林姉は廓清會と題してまづ昨年吉原大火後同所の廢せられん爲救世軍青年會及矯風會等の會員諸兄姉一致して全力をそゝぎ運動せられしも遂に失敗に歸して再設を見るに至りしが、こゝに廓清會なるものを組織し、且つ雜誌「廓清」を發行し能く這主義の爲に戰ひつゝあれば一人も多くこの主義に贊成して同會々員となり或は同雜誌の購讀者となられんことを希望すと述べられる。次に内ヶ崎氏英國に於ける婦人の位置と題して約一時間以上いと快活に且つ熱心に彼國婦人の有樣につき眼前に見るが如く說かれ、婦人參政權運動者の如何に驚く可き勇氣を以て活動しつゝあるか如何に彼の國婦人教育程度の高きか、我日本婦人も彼等のよき點のみを取りて學び、その短所は捨て從々當て婦人の位置を高むる樣勉め勵むべき事等懇々と述べられ終りにロンドン市に於ける矯風會々員の婦人等が地方より出て來る若き婦人の或は墮落せんとし、或は誘拐せられんとするを助け或は勞働者の乳吞子幼兒等を晝間のみ預りて凡ての世話をなし、彼等が充分働き得る機助を與へつゝあること其他種々なる方面に向つてなされつゝある美はしき、やさしき働に付て遺憾なく語らる。會集一同初より終迄熱心に傾聽したり、我等も大に得る處あり寄に[illegible]されて散會したるは午後四時過る頃なり。本會員約二百名。此日大阪よりわざ〳〵來會せられしオルチン氏の讃美歌獨唱あり同氏の厚意を謝す。（永田とき）

婦人新報代金領收（六月以後）

參圓卅錢　堺矯風會　七拾錢　米山みゆき
七拾錢　近澤　まさ　參拾五錢　望月　すみ
三圓五拾錢　安中矯風會　七拾錢　中田　きせ
貳拾貳圓　神戸矯風會　七拾五錢　三浦　とめ
四十錢　五圓七拾錢　田中　つる
參圓　岩瀬庄太郎　七拾錢　久保　もと
七拾錢　金澤　なほ　貳圓　平瀬　やす
壹圓　山家　やま　壹圓　綾部　すゑ
七拾錢　松島　やゑ　七拾錢　渡邊　しげ
七拾錢　廣瀬　百代　七拾錢　小林　米子
七拾錢　櫻井　竹誠　七拾錢　加藤　とみ
金貳圓　松岡　こと　金貳圓　佐藤　たつ
金八圓　吳矯風會　金三圓　名古屋矯風會
壹圓廿錢　加茂　れい　壹圓廿錢　渡邊　りう
金六拾錢　小宮　たま
金貳十九圓五十錢　大阪矯風會（六七八月分）
金四圓六拾八錢　三田村あい（八月迄）
壹圓五十錢　淺野はな　金壹圓　五十君とよ

正誤　第百八拾壹號大會費の部に一金貳圓佐賀とあるは金四圓の誤、義捐金の部に一金壹圓五十錢大阪とあるは一金壹拾五圓の誤につき謹で訂正仕り候。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新涼燈下に薦む

法學士大塚小一郎著

家族と國民

定價九十錢
郵税八錢

一杯の芳醇は千斛の水に勝り、一冊の良著は萬卷の駄書に優る。本書はケンブリッヂ大學俊秀の一新進ウエザム氏苦心の名著にして、最新科學の智識を以て、社會現象を最も根本的に最も徹底的に研鑽論究したるものなれば、好學の青年男女は必ず一讀して幽玄の天機に觸れ、千古の心眼を啓らき、人生の眞歸趣と新理想とを確得せざるべからざるのみならす、苟くも社會に生活する程の人にして、國民たり家族たるものは、亦當さに一讀煩惱を去り迷雲を掃ひ、各自の天職に樂着して向上の一路を邁進し、人と家と國との高き意義を完了せざるべからす。

東京京橋銀座 警醒社書店（振替東京五五三號）支店 本郷

◎緊◎急◎廣◎告　御○大○葬○寶○寫○繪○ハ○ガ○キ○

我六千萬ノ臣民ハ申スニ及バズ英同盟國ヲ始メ各條約國ニ至ル迄　明治天皇陛下ノ御聖德ヲ欽慕セザルモノナク御大葬ニ參列スルノ榮ヲ得ンコトハ均シク渇望スル所ナリト雖御葬儀道途ノ狹隘ナルト　遠隔ナル地方ドト各人周圍ノ事情ニヨリ果ス克ハズ實ニ千歲ノ恨事トス

茲ニ於テカ都下新聞雜誌皆明トナリ此御大葬ヲ記念スルガ爲メ當夜ノ撮影ヲ小川一眞氏ニ托シ十三日夜完全ニ讓寫シケレバ都下ニ於テ此寫眞ヲ發行スルモノ數十ノ多キニ及ブコト、存候

本社ハ此寫眞團ニ同盟シ本社獨特ノ技術ヲ施シ最モ鮮明ニ印刷シ加フルニ御尊嚴ヲ失ハザランガ爲メ銀線ヲ施タレバ後世ノ紀念トシテ絕品ナリ

故ニ都下ニ發行セラル、御大葬繪端書トシテ失言カハ知レザレドモ優一ナルコトヲ確保仕リ候論ヨリ證據他品ト御比較被下バ明瞭ニ候

本社ハ明治天皇陛下ノ御高德ニ報ユルガ爲メ　亦江湖同情者ノ爲メ　本社ハ直接御注文又ハ本社ヘ御來社御買入ノ諸君ニ限リ御實費ト同一ノ實費ヲ以テ御頒チ申上候ヘバ續々御尊來御注文ノ程伏シテ希上候

四枚一組金八錢（郵送十二錢以上）八枚一組金十六錢（郵送廿四錢以上）十二枚一組金廿五錢（郵送三十錢以上）

◉乃木大將繪はがき（價格同上）

乃木大將御家庭寫眞　一枚　乃木大將及び令夫人御葬儀式　二枚　馬上乃木大將と獨逸皇帝　一枚

右四枚共不變色コロタイプ印刷寫眞四ツ判形一枚金三十錢四枚金一圓箱入送費金八錢

發行所　麹町區上二番町三十三番地　**婦人新報社**

販賣元　寫眞製版印刷繪ハガキ類卸所　牛込東五軒町五五草花園南隣　**東京タイプ社**

附自最上等コロタイプ二色浮出歐文ネーム附高貴御肖影六枚判（金十五錢）報知社代理部販賣外計印刷並乃大額面（金一圓）其他各種目下製版中

御中大額面種々あり其他各種印刷物御注文奉希上候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新式マッサージ治療及教授

天命を全うし圓滿なる家庭を御希望の諸君は是非共御研究を御願申ます殊に子供を健全に保育するには主婦自から此新式マッサージを御知りでなくては母たるの責任を全ふすることが出來ません

東京盲啞學校長小西信八先生の教歌に

やみふしてさわぐはおそしあさゆふに
やまいもみけすすべをこそあふげ

女子學院長矢島楫子先生の教歌に

荷をおひて日毎にあゆむ旅の友
正路(マッサージ)たどらばふみは迷はじ

常に新式マッサージを施せば病に犯さるゝことがありません又不幸病にかゝりし人にても此新式マッサージの治療を受けずして死するのは即ち人事を盡さずして天命を亡ふものです此新式マッサージは慢性胃腸病、腦神經衰弱、頭痛、リウマチス、脚氣、腎臟、肝臟、感冒、乳腫、產前產後、等には必ず全治致します

◉來患治療は一回二十錢以上壹圓迄

●普通入會費金壹圓、講習料壹週間金壹圓にて一通り教授す

●特別入會費金貳圓、講習料壹回金五拾錢以上

●出張教授は御相談の上便利に致します　但料金は前納の事

●學理と實地を修業の上は證明書を附與す

（注意）從來のマッサージとは違ひます

東京市牛込區東五軒町五五(電車停留場側)

衛生マッサージ普及會

會長　中村松乃

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察、月、水、木、金午前、入院、診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

東洋內科醫院

電話本局 八八八番(病院用) 八九八番(私宅用)

東京神田區駿河臺鈴木町二御茶水橋角

院長 醫學士 高田畊安

相州高座郡茅ケ崎町海濱從停車場半里

南湖院

電話ちがさき二番

河野、高橋、兩兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察、土曜日午後、入院、診後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（明治四十五年六月廿五日 第三種郵便物認可） 婦人新報第百八十三號 （大正元年九月廿五日發行 毎月一回發行廿四日納本）